



水道だより

水道だより 第 37 号
令和 6 年 6 月 2 4 日発行

鬼北町役場水道課

〒798-1395 愛媛県北宇和郡鬼北町大字近永 800 番地 1 TEL (0895) 45-1111 (代表)

令和 6 年度水質検査計画のお知らせ

“安心して水道水のご利用を”

水質検査計画は、水源からご家庭の給水栓に至るまでの水質管理を行うために、水質検査項目や検査回数を定めたものです。鬼北町では、国の定めている基準に基づき、水源の状況や過去の水質検査結果に応じて、令和6年度水質検査計画を下の表のとおり策定いたしました。

鬼北町では、安全でおいしい水を町民の皆さんに提供するために、毎事業年度の開始前に水質検査計画を策定し、定期的に水質検査を行っています。

なお、水質検査計画および水質検査結果の詳細については、水道課で閲覧することもできますし、鬼北町ホームページに掲載していますので、ご覧下さい。

水質検査計画

番号	水質基準項目	検査実施頻度	給水栓の水質検査(月)												原水		
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		10	
01	一般細菌	1回/月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
02	大腸菌	1回/月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
03	カドミウム及びその化合物	1回/3年	○														○
04	水銀及びその化合物	1回/3年	○														○
05	セレン及びその化合物	1回/3年	○														○
~~~~~																	
47	PH値	1回/月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48	味	1回/月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
49	臭気	1回/月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
50	色度	1回/月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
51	濁度	1回/月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 検査実施頻度は水道法施行規則で定められており、省略可能な項目については、水源の状況や過去の水質検査結果によって、最大限3年に1回まで回数を減らすことができます。

※ 水質検査は配水区域ごとに行なっています。

★上水道事業：成川、牛野川、近永、広見、成藤、吉波、大藤、奈良、大宿、生田、清水、西野々、下大野、葛川、古用、小松及び面谷の各配水区域

※ 色、濁り及び残留塩素(0.1mg/l以上)については、水道法に基づき検査を行ないます。

※ 上記 51 項目のほか、水質管理目標設定項目として、上水道のすべての水源フッ素化合物の含有量検査を年に1回実施します。

# 令和6年度水道事業予算のあらまし

令和6年度鬼北町水道事業予算は、令和6年3月25日に開かれた令和6年第1回鬼北町議会定例会で議決されました。予算の概要は次のとおりです。

## 収益的収入及び支出

この予算は、水道事業を経営する上で発生する水道料金等の収入と、それに対応する必要な費用を見積もったものです。

令和6年度は、収入予算額を前年度比2,687万5千円(6.6%)増の4億3,156万3千円、支出予算額を前年度比9,537万5千円(28.6%)増の4億2,827万3千円を計上しました。

### ●収入

給水収益(水道料金)は、前年度比757万5千円(2.8%)減の2億6,386万2千円の収入を見込みました。また、一般会計補助金は、前年度比250万円(18.5%)減の1,100万円を計上しました。

### ●支出

営業費用(水道施設の管理、水道料金の徴収、固定資産の減価償却などに要する費用)については、電気計装工事の完成に伴う除却費の増などにより、前年度比9,389万2千円(32.9%)増の3億7,952万1千円を計上しました。

また、営業外費用(企業債支払利息、消費税の支払いなどに要する費用)には、企業債支払利息の増などにより、前年度比148万3千円(3.2%)増の4,755万2千円を計上しました。

## 資本的収入及び支出

この予算は、企業債償還金、施設整備に要する経費(工事費等)の収支について見積もったものです。

今年度は、継続事業として鬼北町上水道施設電気計装設備更新工事、生田地区、下鍵山地区の老朽化した配水管の布設替工事等を実施する予定です。

収入については前年度比4億9,944万1千円(79.2%)減の1億3,107万2千円、支出については前年度比4億8,530万6千円(60.7%)減の3億1,364万1千円をそれぞれ計上しました。

### ●収入

企業債の元金償還に対する一般会計負担金は、前年度と同額の8,000万円を計上し、水道施設加入に係る施設負担金についても、前年度と同額の101万2千円を計上しました。また、継続・新規事業に伴う財源として、企業債5,000万円を計上しました。

### ●支出

建設改良費(配水管の布設替等施設更新に要する費用)については、前年度比4億8,293万4千円(83.1%)減の9,816万6千円となっています。企業債償還金には前年度比237万2千円(1.1%)減の2億1,547万5千円を計上しました。

# 水道事業会計の財務状況や決算書の見方について

水道事業会計の財務状況や決算書の見方について、令和4年度の決算書(損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書)を例に、簡単に説明します。

なお、令和5年度決算については、鬼北町議会で決算認定を受けたのち12月号の水道だよりにてお知らせします。

## ●損益計算書は、当年度中に得た全ての収益、費用、最終的な損益を記載する報告書

損益計算書は、当年度中の収支のみが記されるものであるため、複数年使用する配水管などの取得費用や、その原資となる借入などは、当年度中の収支であっても、損益計算書に含まれません。

⇒損益計算書のみでは、水道事業会計全体の収支は把握できない。

## 令和4年度の鬼北町水道事業会計の収支は？

- ・令和4年度の鬼北町水道事業会計の純利益は6,999万4,274円
  - ・一方で、配水管の布設替工事などの資本的収支[※]は1億6,261万7,829円の赤字
- ※資本的収支の赤字は、補填財源(利益剰余金等)で補填する必要があります。

## ●貸借対照表は、年度末時点で所有している資産、負債及び資本を記載する報告書

貸借対照表では、所有している資産(配水管、電気計装設備などの構築物や、現金預金など)を取得するために、どのように資金を集めたのかを知ることができます。

## 令和4年度末の鬼北町水道事業会計の貸借対照表は？

<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
1 固定資産		4 固定負債	
有形固定資産		...	
...		固定負債合計	1,477,348,789 円
...		5 流動負債	
固定資産合計	4,436,519,749 円	...	
2 流動資産		流動負債合計	228,605,892 円
現金預金	204,926,718 円 ^{※1}	6 繰延収益	
...		...	
...		負債合計	3,076,776,822 円
流動資産合計	336,995,660 円	<b>資本の部</b>	
3 繰延勘定		7 資本金	
...		自己資本金	1,396,017,269 円 ^{※2}
		資本金合計	1,396,017,269 円
		8 剰余金	
		剰余金合計	300,721,318 円
		資本合計	1,696,738,587 円
資産合計	4,773,515,409 円	負債資本合計	4,773,515,409 円

※1 鬼北町水道事業会計が令和5年3月31日に保有している現金は2億492万6,718円であるため、多額の費用を要する建設改良工事を行う場合、資金ショートを起こさないためには、起債の借入が必要不可欠です。

※2 自己資本金は固有資本金、出資金、組入資本金の合計額であり、令和4年度末の自己資本金は令和3年度比8,168万6,697円増加していますが、増加したのは組入資本金です。

## 組入資本金とは？

組入資本金とは、事業開始後の利益を源泉とし造成された自己資本であり、例えば令和4年度の自己資本金は、令和3年度比8,168万6,697円増加していますが、この金額は、令和3年度決算時の補填財源(資本的収支の赤字を埋めるのに使用した財源)使用額のうち、利益剰余金を充てた金額の合計額(内訳は、減債積立2,000万円+建設改良積立金6,000万円+繰越利益剰余金168万6,697円)です。

よって

**過去に組入れられた組入資本金の合計額=過去に補填財源として使用した利益剰余金の合計額**であることから、組入資本金は既に使用した金額の合計値であり、現金の裏付けはない数値です。

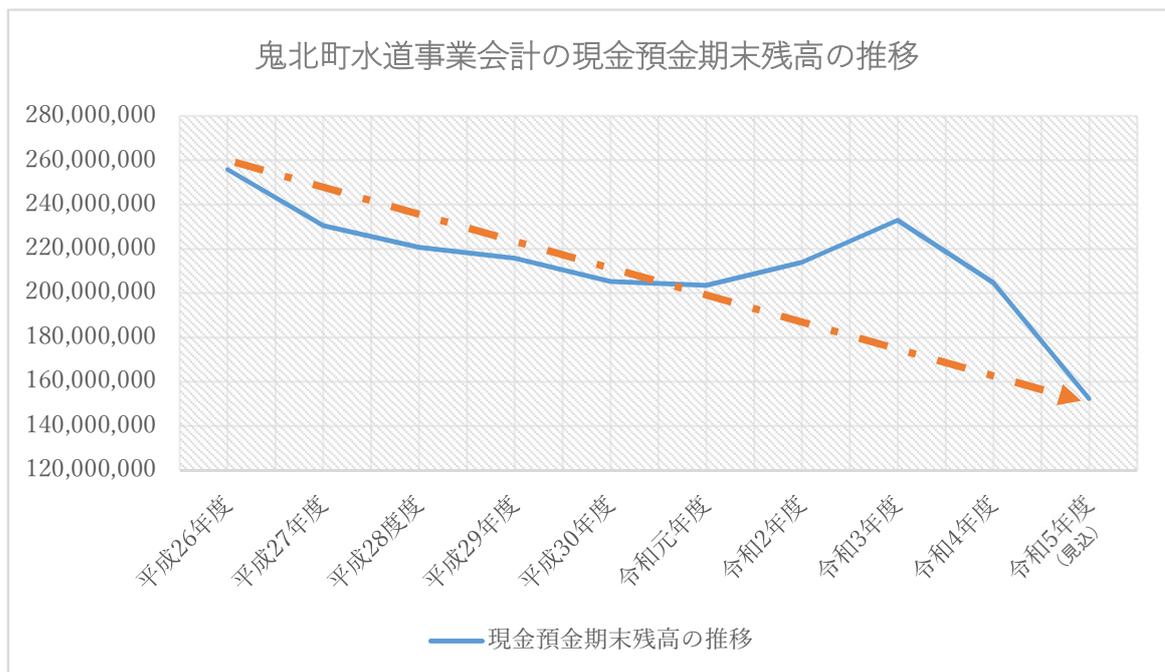
## ●キャッシュ・フロー計算書は、当年度中の現金の増減を表す計算書

キャッシュ・フロー計算書には、現金を年度始めにいくら保有していて、何にお金を使い、年度末にいくら現金を保有しているのかが記載されています。

## 鬼北町水道事業会計のキャッシュ・フローは？

令和4年度当初に保有していた現金預金は2億3,310万9,887円であり、年度中に差引で2,818万3,169円減少し、令和4年度年度末に水道事業会計が保有している現金預金は2億492万6,718円(貸借対照表の現金預金と一致します)に減少しています。

長期的にみると鬼北町水道事業会計の現金預金保有額は減少傾向にあります。



## 鬼北町水道事業が置かれている状況は？

- 保有する現金預金の期末残高は年々減少傾向にあります。
- 鬼北町水道事業会計の流動比率(流動資産/流動負債)は、令和4年度末時点で147.4%であり、理想比率といわれる200%を大きく下回ります(つまり、現金預金が少ない状況です)。
- 今後も人口の減少が予想され、給水収益の減少が見込まれます。
- 一方で、水道管路の総延長が大きく変動することはないため、今後も耐用年数を迎える水道管の更新には多額の資金が必要となります。